

自分の休みは、しっかり休もう！

— その⑤ —

何故、「休日出勤」が強行されるのでしょうか？

会社は、本年度の休日出勤について「6泊程度になる」と年明けに明らかにしました。既に4月の休日出勤は、大二運では43名に指定されているように如実に増えています。前月25日の勤務発表には、自分の休み（特休）にもかかわらず本人に同意、打診すら一切なく勝手に勤務表に休日出勤を指定してきています。会社は、これまでの新幹線買い取りによる長期債務に加え、2008年2月の『JR東海』社内誌でリニアのバイパス建設等新たに資金調達が必要であることを明らかにしています。この先、輸送力増強による大幅な収益が望めない中、少しでも当期利益確保のため要員・コスト（人件費）を抑えるために「休日出勤」を強行するのであり、また「2025年リニア開業まで現行の人員でいく」と経営協議会の場で明らかにしているところから、**列車本数を減らさない限り「休日出勤」はなくなるということ**です。

御用組合としてのJR東海ユニオンの役割がより鮮明に・・・！！

JR東海ユニオンは、「休日勤務指定が増加することは到底承服できない」と一応反対であるかのポーズはとっていますが、D単価引き上げ等「休日出勤」前提とした協議を行い、会社と出来レースのもとに話は進められました。

《予備月でも自ら進んで「休日出勤」に応じる実態・・・！！！！》

乗り組み月の「休日出勤指定」だけに止まらず、予備月でも自ら「休日出勤」に応じる乗務員が後を絶ちません。なんとその中には「到底承服できない」とするユニオン大二運分会の役員も、何故か自ら進んで応じている見逃せない実態があります。

- ★ **ユニオン大二運役員は本当に承服できないのなら36協定破棄で闘ったら？！**
- ★ **これじゃ「抜本的な需要対策としての要員措置」など絵空事だ！**